▲　木村心華（みはな）ちゃん（右の女の子）と日護（ひゅうご）くん、七・五・三さん（11月6日）

慧　光

金光寺寺報
第２４５号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎　０９８２
８３－２３３８

今月法語カレンダーのことば

今日（きょう）である　あること難（かた）き　今日である

藤代聡麿

お釈迦さまは、私のいのちとそれを支えている一切の世界のあり方を「諸行無常（しょぎょうむじょう）・諸法無我（しょほうむが）」、そして「縁起（えんぎ）」という教えとして明らかにしてくださいました。その内容を簡潔に言えば、ーこの世のあらゆるもの（私も含めて）は千変万化（せんぺんばんか）しながら常に移り変わり続けていて、不変なものは何一つない。一瞬一瞬に変化しながら、ただその時の縁によって結びついている存在であるーということです。

私たちはお釈迦さまから教えていただいた「諸行無常（移り変わり）」を「時の流れ」として捉えています。ー赤ちゃんが生まれて成長して大人となり、やがて年老いて死んでいくーという一連の流れを、「変化し続けた」と受け取るのか、それとも「時が流れた」と受け取るかの違いです。

ここで大切なのは、過去も現在も未来も「今を生きる私の中では同時に流れている（変化している）」ということです。もっと端的に言えば、過去とはー今の私の中にある記憶のことーであり、未来とはー今の私の中にある期待や不安のことーなのです。ですから過去に起こった事実は変わらなくても、過去の意味は今の私の中でいくらでも変わっていきます。

人間は出会った事実で生きているのではなく、その意味によって喜怒哀楽しているのですから、「今」を生きる私が「これから」の人生の本当の意味と喜びを見出した時、私の「これまで」の意味も大きく変わってきます。大切なのは人生は常に今の連続なのだという.ことです

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　１２　月
　　２２日　午前
　　２３日　終日

◎　２０２２年　１　月
　　１８日～１９日

１１　月　の　天　候

最低気温・　－2．４℃（２８日）
最高気温・２０．３℃（　１日）
冬日日数・５日
真冬日日数・　０日
月間総雨量・137.0mm(降雨日数・11日)
一日最大雨量・２９．０mm（30日）

本年１１月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。
２０２１年１１月１２日満　９０歳
芋の八重　唐仁原　民子　様

ホームページ開いています。
ＵＲＬ　https://konkouji.jp/
11月8日現在アクセス数　123,704人

金光寺のひと月

十一月

一日　矢惣園・折立・深谷報恩講
　　田中鈴子様　六・七日忌
二日　藤本ノブ子様　十七回忌
　　綾キヤ様　五十回忌
三日　大石の内報恩講
　　当山前坊守釋妙順　月命日
　　新原チカエ様　七回忌
四日　秋参り（家庭報恩講）
六日　木村心華ちゃん・泉幸子様　日護くん児参式（七五三）
　　興侶チエミ様　三回忌
七日　秋参り（家庭報恩講）
　　古賀東報恩講　通夜
八日　泉幸子様　四・七日忌
　　藤田実様　六・七日忌
　　藤岡久雄様
　　田中鈴子様　満中陰
九日　泉幸子様　初・七日忌
　　秋参り（家庭報恩講）
十一日　日向市秋参り（家庭報恩講）
十二日　唐仁原民子様　臨終勤行
　　秋参り（家庭報恩講）
十三日　小川報恩講
　　木村光俊様　一周忌
　　木村孝雄様　十七回忌
　　藤木熊一様　五十回忌
　　秋参り（家庭報恩講）
十四日　村岡護様　二十五回忌
　　那須智子様　一周忌
　　藤岡久雄様　満中陰・納骨
　　奈須ジツ様　三十三回忌
　　唐仁原民子様　三・通夜・七日忌
十五日　藤田実子様　五・葬儀・初・七日忌
　　唐仁原民子様　初命日
　　唐仁田民子様
十六日　宗祖親鸞聖人　礼参り
　　長澤行東様子　三回忌
　　森本秀哉様　五十回忌
　　泉幸子様　葬儀・七日忌
　　秋参り（家庭報恩講）
　　広瀬報恩講
十七日　本当屋釋依講章　月命日
　　水流山前住　報恩講
　　西臼杵・公立学校　修会（当山）
　　古峰賀西　事務職員研修講
　　長古　報恩講
十八日　揚田　報恩講
　　藤田　実恩講
　　熊本市・御子様船
　　泉ミ様
十九日　ク原・原船様
　　スナ原・尾町　六・七回忌
　　荻ノ恩講
二十日　興梠ノ本報恩講　五十回忌
　　倉本上報恩講
二十一日　道の報恩講
二十二日　唐仁原民子様　臨終勤行
二十三日　長崎ミナコ様　三回忌
二十四日　宮崎市秋参り（家庭報恩講）
二十五日　宮崎市常様　七日忌
二十六日　本常様　七日忌
二十七日　藤本常市秋参り（家庭報恩講）
二十八日　宮崎市秋参り（家庭報恩講）
二十九日　山口宮子様　満七回忌
　　秋参り（家庭報恩講）
　　本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
　　『月々のことば』より抜粋　転載

住職ひとりごと

忙しい十日間でした。
十七日の仏事
内容は、秋参り二十四日に別の二十事
分かりやすく、脱線しないように、
ぐっと疲労感を感じます。
術後の半年、
聞いたことの先輩方
言葉の昔の
きかれたお
体験の年
思い出の後
自分が存在
分からない
ピード感
ス
ピ
ー
ド
感
で
、
ま
だ
ま
だ
思
い
出
す
ま
で
に
は
時
間
が
か
か
り
ま
す
。
驚くほど
思い出すのに
三十三年
月日は
齢を重ねて
二十年
いろいろ
正確に
覚えていて
自分の
記憶
力
・
体
力
の
衰
え
を
痛
感
す
る
今
日
の
法
話
で
は
、
「
今
を
生
き
る
私
の
中
で
は
同
時
に
流
れ
て
い
る
（
変
化
し
て
い
る
）
」
と
い
う
こ
と
で
す
。
そ
う
言
っ
て
も
、
な
か
な
か
難
し
い
ご
法
話
で
す
。
な
ぜ
な
ら
、
「
諸
行
無
常
・
諸
法
無
我
」
と
か
「
縁
起
」
と
か
使
う
言
葉
は
、
お
寺
の
ご
法
務
に
ご
縁
日
に
お
参
り
し
て
い
ま
す
。
（
住
職　松井卓郎）